



社会福祉法人江東楓の会 編集責任者 理事長 伊藤 善彦  
発行所 江東区東砂 6-2-14-3F TEL 5617-3750 FAX 5617-3752

副理事長あいさつ

## 社会福祉法人江東楓の会 副理事長 宮内 洋

寒さもひとしお身に染みるころとなりました。

新型コロナウイルスは、4度目の緊急事態宣言が解除され3か月が経とうとしています。急激に感染者数を落とし安堵しているところですが、第6波への不安は拭えません。

さて、江東楓の会はこの12月で20年目に入りました。障害のある子の親の思いにより平成14年12月「社会福祉法人江東楓の会」が立ち上がり、平成15年4月には指定管理施設江東区亀戸福祉園の運営が始まりました。その後、生活の場を支えるグループホームかえでや楓の会ヘルパーセンター、就労の機会を提供するワークセンターつばさの開設など徐々にサービスの幅を広げ、今では日中活動の事業所6カ所、生活や余暇を支える事業所3カ所、相談支援事業所3カ所など多岐に渡るサービスを展開するに至りました。これからは利用者の皆様が安心してサービスを利用し経験の幅を広げながら、それぞれの自立に向かっていく事の一助になれるよう法人職員一同邁進していきたくと思います。

また、コロナ禍ではありますが、徐々に各事業所が様々な取り組みを再開しています。今までのような取り組みとはいかないかもしれませんが、各事業所の特色を生かした取り組みになっていければと思います。



## 「近況報告」

# 江東区あすなろ作業所 支援員 樋熊和美

あすなろ作業所では新しく2つの作業が始まりました。1つ目はトートバック・Tシャツ等にロゴを印刷する作業です。大きなプリンターの機械を使い、ペットショップのロゴをトートバックに印刷したり、某有名少年週刊誌の漫画に出てくるページをTシャツにプリントし、注文者へ出荷する作業を行っています。今まで触れたことのない機械でまだまだ不慣れなところもありますが、1枚1枚違うキャラクターが描かれたTシャツをたたむのをひそかに楽しみにしている方（職員も！！）が多い仕事です。2つ目はポストウェイのメール便を投函する作業です。作業所のある東砂3丁目のお宅を回りながらチラシを投函しています。2日間で300件以上のチラシを投函しますが、近隣の方々に作業所の顔を覚えてもらえる良いチャンスなので挨拶と笑顔を絶やさずに行っていきます。

少しずつ日常が戻りつつありますが、緊急事態宣言があげたところで、感染予防を徹底しながら、ミニ秋祭りを開催しました。同じ法人の事業所からお借りした沢山のゲームや卓球、スタンプラリーなどを行いました。久々の行事ということもあり、利用者の方々も終始良い表情で楽しまれていて、私たちも行事の大切さ、日常のありがたさを実感した1日でした。



## 「コロナ禍におけるヘルパーセンター」

# 楓の会ヘルパーセンター 職員 萩原 洋

寒さも一段と厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。楓の会ヘルパーセンターの利用者及び職員一同は元気一杯、活動しております。

さて、このコロナ禍でヘルパーセンターも大きな転換期を迎えました。外出支援では、コロナ前は利用者の望むことをできる限り叶えられるように努めてきましたが、コロナ禍になり日々の生活の中にも色々な自粛があり、ヘルパーセンターでも外出時における制限を設ける必要が出てきました。

例を挙げると、人が集まる場所や空間を避けたり、マスク着用の徹底があります。他にも色々な制限を設けて、これらをヘルパーと共有し、利用者ヘルパーの健康と安全を守る努力をしてきたと自負しております。

今後も社会情勢を見極め、制限の設定や緩和を続け、皆様の健康と安全を守りながら、コロナ禍が明けた際には、今まで自粛してきたことが気兼ねなく出来るよう頑張っていきたいと思っております。今後とも楓の会ヘルパーセンターをよろしくお願い致します。

## 「就労移行支援での私の経験」

### ワークセンターつばさ 支援係長 原 未来

就労継続B型は、一般就労は少し難しいけど、「働きたい」という気持ちを持って、働く場として幅広い年齢層、様々な障害をお持ちの方が作業を通して活躍し、社会参加を目指しています。

就労移行支援は、原則2年間の有期の中で、一般就労を目指し、生活の場や利用者自身の将来設計も含めた支援を目指しています。

就労移行の支援内容は、履歴書の書き方、面接での対応方法、スーツ等必要な物を購入しに行くこと等、私たちが就職する際に行うことを利用者の方に伝えながら一緒に取り組みます。

就職は社会参加への大きな一歩です。ご本人が就職後は定期的に企業に訪問し、課題があればその場で相談を受け、支援者としての見解を伝えます。就業をご本人が希望する間は全力で出来る限りの支援を行います。訪問後、ご家族または世話人とご本人の状態について共有し、必要に応じてご本人の生活にも踏み込んで支援を行います。

私がつばさに来て間もない頃、ある企業に訪問した際に利用者の方の課題について会社の方から話を伺いました。事前につばさにある当該利用者の記録に目を通しましたが、特に記載はなく直接お会いして仕事ぶりを見た際は一生懸命取り組んでいました。ご本人から話を聞くと「仕事は続けていきたいです。」と、就労への意欲が伺えました。一方で企業側の「能力が満たないため雇用継続は難しい」という評価に対し、私自身が納得できず、自分の思いだけが先行し担当者に話をしてしまった結果、会社側に不快感を与えてしまう形となり「あなた（私）自身がご本人の事をあまり知らないのに何ですか？」と注意を受け、話が途中で終わってしまうことがありました。

支援者の思いだけで話をするのではなく、企業と支援機関の関係性、企業の意見を受け入れながら、その向こうにご本人、ご家族の思いがあることを忘れずに、情報共有しながら意見交換をして話をしていく大切さを学びました。



## 「コロナ禍での活動、行事について」

### 亀戸福祉園 支援員 半田 力也

コロナウイルス感染症に伴い、外出行事や園祭・宿泊の中止が相次ぎ残念な事が多くありました。制限された環境の中でも各グループで利用者の好きなお菓子と音楽を聴きながら食べる「おやつ会」や他グループの利用者と交流し、ご自分で選んだランチとデザートを食べる「ランチ会」を実施しました。

「おやつ会」では毎月各利用者に好きなお菓子のアンケートを募りスペシャル活動として実施しました。みなさん目をキラキラさせながら食べる姿が印象的でした。

「ランチ会」では当日、通常のバス外出ではなかなか行けない場所にドライブしながら食事を購入しました。「ランチ会」の部屋は少しでも“楽しんでもらう”事を考え海や亀をモチーフに装飾しました。密を避ける為、少人数での食事や日頃の食事場所との違いに戸惑う利用者もいらっしゃいましたが、好きな食事とデザートに笑顔が多く楽しんで参加して頂けました。また中止になってしまった「園祭」ですが「かめ亀ウィーク」と称し、会場の装飾や各グループで「射的・輪投げ・魚釣り」のゲームを行ないその合間に、ポップコーンや綿あめなどを提供しました。

通常の間祭では余興やバザーなど、大勢の人達で迫力のある“お祭り”ですが、今回の「かめ亀ウィーク」では、一人ひとりがじっくりとお祭りを楽しめたと思います。

まだまだ予断を許さない状況は続いています、が、「手洗い・食事時のフェイスシールド・換気等」「今できる事」を一つひとつ取り組んで行き、利用者の方にはより楽しい園生活を、ご家族の方にも安心していただける亀戸福祉園にしていきたいと思っております。

## 「共同生活援助について」

### グループホームかえで 管理者 仲俣圭

唐突ですが、皆さんは『共同生活援助事業』とはどのような事業を思い浮かべるでしょうか。『共同生活援助』と言われるとピンとこないかもしれませんが、『グループホーム』と言われると“ああ、あれか”と思われる方もいらっしゃるかと思います。でも具体的にどんなところかと聞かれても、いま一つ思い浮かばないかもしれません。そこで今回は『グループホームってどんなサービス?』という事をお話ししたいと思います。

具体的に行っているサービス（支援）としては、食事提供や健康管理、金銭管理、居室の衛生保持や整理整頓、家庭や通所先、勤務先との連絡、余暇活動の援助等々と、その方の必要に応じて援助（支援）の内容や程度は多岐に渡っています。また共同生活を送るためには、一定のルールが必要になってきます。お風呂や洗濯の順番や共用物品の管理等、きちんとルールを作って利用者みんなで作っていかないと、利用者間のトラブルに繋がりがねません。そのための利用者間の交通整理も大切な援助（支援）となります。

つまりグループホームという場で他の人と共同で生活し、その人にとっての自立した生活を送っていくために行う総合的なサービス（支援）がグループホームのサービスと言えるでしょう。

## 「短期入所について」

# 江東区リバーハウス東砂 支援係長 新舗 文彦

「リバーハウスの短期入所を利用したい」とお考えになった場合、まず区役所での手続きが必要です。ピンク色の受給者証に「短期入所」が利用できる状態になったら、次はリバーハウスでの利用契約の手続きになります。契約の手続きを終えたら直接電話でのお申込みになります。利用日数は年間で一人につき21日（泊数にして20泊分）と定めています。受付時間は平日の9時～17時、1回のご利用は1泊～6泊まで、3か月先の予約が可能です。

リバーハウスでは1回につき6泊までの利用となりますが、7泊以上、1か月を超える受入れを可能とした短期入所事業を行っている施設もあります。利用したい日数に応じて相談できる施設の選択肢が増えることは、いざ利用が必要になった時の安心につながります。

また、短期入所は利用の理由は問いません。リバーハウスがご希望の日程で居室をご用意できる状態であれば、いつでもご利用可能です。ただし、年間を通して、時期によって（週末は特に）予約が混み合うことが多く、早々に居室が満室となる状況です。

ご利用になる理由は利用者ご家族のご事情によって様々だと思いますが、年間を通して計画的にご活用頂けたら幸いです。

## 「近況+自主生産品 PR」

# 第三あすなろ作業所 支援員 高橋 絵里

寒さが一段と募り、今年も残り僅かとなりました。

第三あすなろ作業所では、10月に利用者1名が新たに第三の仲間に加わり、11月に1名が就職されました。

コロナ禍で、行事が実施出来ない状況が続いておりましたが、10月に『サン3フェスティバルミニ』と題して、作業所内でお祭りを開催しました。各部屋にゲームコーナーや自主生産品販売、綿あめやポップコーンなどのブースを設け、グループごとに参加出来るように企画しました。利用者の皆さんからは「楽しかった」という感想や笑顔が多く溢れていた印象でした。自主生産品販売では、他事業所の商品や当作業所のシフォンケーキをお祭り限定用に準備しました。商品は完売し、私自身とても嬉しい気持ちになりました。

自主生産品は、宮城県の豆乳を使用したシフォンケーキや豆腐、プリンなどを製造しています。シフォンケーキは軽い口当たりでもっちりとした食感が特徴となっており、お客様からもご好評を頂いております。昨年度には、南砂二丁目町会さんから店頭販売のお誘いを頂き、週に1度シフォンケーキを納品させて頂いています。お店に訪れるお客様から「今日はシフォンケーキもうないの？」や「〇〇味が好きなのよ」とのご意見があるので、いつまでも地域の皆様から愛されるケーキを利用者の皆さんと作っていきたいと思います。

## 「個別支援計画と評価について」

### 若竹作業所 支援係長 伊藤隆行

早いもので今年も年末が近づいています。新型コロナウイルス感染症もここ数カ月は感染の拡大はみられず、このまま収束に向かえばと思います。

今回は個別支援計画と評価についてそれぞれがどんなものか、なぜ必要かについて書いていこうと思います。

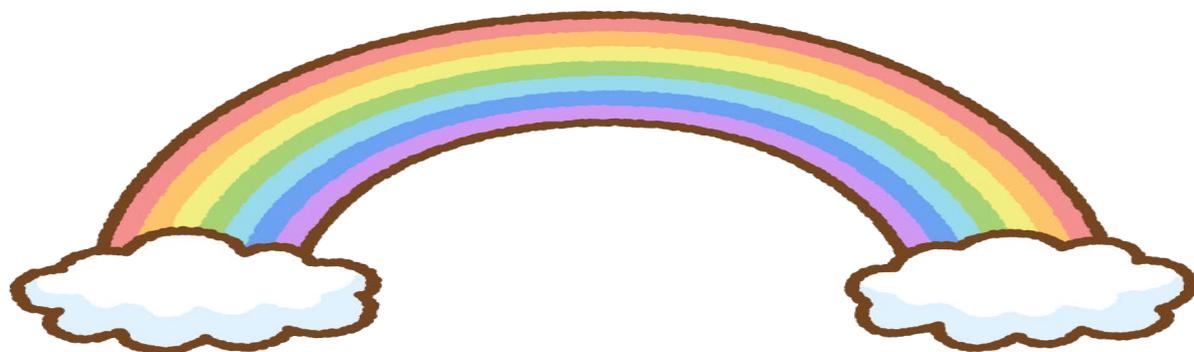
まず、個別支援計画とは、障害を持っている方が施設を利用し過ごしていく中で「ここは今よりもっと出来ることがあるな」と思う部分や「もっと過ごしやすくなるためにはこうした方が良いかな」などを考えて作成する計画のことです。その為、利用者の持っている力を発揮するには何が必要か、過ごしやすくなるには何を行うと良いかを具体的に考えることで、利用者だけでなく職員や家族などみんなで力を合わせて取り組んでいくことが出来る為、個別支援計画が必要となってきます。

次に評価についてです。評価は、個別支援計画が実際にスタートしてから順調に進んだのかを振り返るものです。障害を持っている方が計画をスタートした時から振り返る時に、計画が進んでいけば良いのですが、時にはうまく行かないことや、計画通りに進まない事もあります。利用者の今を振り返り、改めてこれからどうしていくかを考える為に評価が必要となってきます。

個別支援計画について簡単ではございますが、説明させていただきました。

少しでも個別支援計画についてイメージを持っていただけたのであれば嬉しく思います。若竹作業所では、夕方に職員が集まり、日々の出来事や様子等について振り返りを行っています。利用されている方一人ひとりの日々の様子を記録し、職員同士で意見交換を行い、全体で情報を共有しています。

若竹作業所は今後も皆さんとの関わりを大切にしながら、生き活きと笑顔で過ごせるような施設を目指していきたいと考えています。



## 高齢障害者通所施設さくら 看護師 神内 梓

新型コロナウイルスの流行前後で「ビフォー・コロナ/アフター・コロナ」という言葉が使われだし、私たちの生活様式も大きく変化しました。施設ではマスクの着用、1日2回以上の検温が新たに加わり、食事の座席もパーティションで仕切って対面にならないように気を付けるようになりました。また、たくさんの人が触れる場所から菌が手に移り感染を広げるため、朝夕と1日2回アルコールを用いて手すりや蛇口、ドアノブなどの消毒をしています。朝は当番の職員が、夕方は利用者さんが掃除の時間に交代で消毒と拭き取りをし、一丸となって？感染症対策に取り組んでいる効果があつてか、感染症で体調を崩す利用者さんは現在、見られていません。どのような感染症でも対策の基本は同じで、飛沫感染に対してのマスクの着用、接触感染の対策としての手指衛生になります。5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛沫(約3,000個)が飛ぶとの報告が上がっており、マスクをしていない時はおしゃべりをしないように利用者さんにも繰り返しお伝えしています。また、しっかりと泡立てた石鹸で洗うことで手全体や手の皺などに石鹸液が行き渡り効果が出るので、泡で出るタイプのハンドソープを使用しています。正しく手洗いをするためには30秒かかると言われていますが、なかなか難しいのが現状です。それでも、爪や指の間、手の皺など洗い残しの多い部分がしっかりと洗えるように機会を見つけては利用者さんに声をかけるようにしています。漫然と洗うのではなく、意識をして洗うことで手洗いの効果はグンと高まるので是非、実践してみてください。また、乾燥した空気の中ではウイルスが飛散しやすいので冬に入り加湿器の使用も始めました。施設内だけではなく、ご家庭でも出来る感染対策はたくさんありますので、是非、実践していただけたらと思います。



## 令和3年度 後援会会員名簿

### <賛助会員>

(第46号からつづく)

会田 直子	磯本 広樹	小田 一枝	斉藤 誠
会田 久雄	伊藤 和子	小高 郁乃	斉藤 美雪
青地 美知子	伊藤 可南子	尾戸 千尋	斉藤 良子
明石 大介	伊藤 純一	小野寺 千賀	齋藤 沙友里
明石 真理子	伊藤 隆行	小原 直人	三枝 伸
赤津 正徳	伊藤 善彦	恩田 喜代美	坂 博
秋田 かおり	伊藤 小夜子	掛川 善至	榊 勝一
秋庭 溢子	井奈波 彩未	陰山 香苗	坂詰 真里
秋庭 敏宏	乾 沙織	笠原 正寛	坂本 夢来
阿久津 剛	井上 貴史	片上 友美	相楽 由里子
安達 芳正	伊能 ひかり	片桐 謙一	佐久間 勉
阿部 秋子	今井 達也	片桐 瞬	櫻井 綾子
阿部 秀和	今井 千夏	片桐 湖生	桜井 千鶴子
甘利 英子	入江 宏	門井 千代子	佐々木 緑
新井 康介	岩崎 香織	加藤 リツ子	佐々木 珠乃
新井 由美	岩橋 稔	神 貴之	佐々木 智彦
有馬 裕美	岩橋 幸子	亀井 洋子	佐竹 良美
安藤 修	上田 晃	川井 美穂	佐藤 史仁
安藤 壽江	上野 順子	川口 晃洋	佐藤 えりか
安藤 美佐子	白杵 宏子	川澄 花代	佐藤 奈津子
猪狩 健治	白倉 幸夫	川端 美喜雄	澤村 泉
池田 顕思郎	宇田川 知幸	神成 旭	鹿間 勝
池山 遼一	梅内 千佳夫	菊池 尚美	茂田 勇輝
伊佐 剛	梅澤 崇	北川 幸代	茂野 勝信
井沢 元樹	浦部 友宏	北原 正晴	品田 友香
石井 仁	遠藤 仁美	木村 桃子	柴井 勝也
石井 公子	及川 忠	工藤 紀之	柴原 弘子
石井 啓弘	及川 綾乃	熊倉 歳之	嶋田 有華
石井 惇也	大砂 しづ子	倉田 久美	嶋田 隆二
石井 潤一朗	大塚 伸一	小桜 勲	島田 由美子
石川 信彦	大西 正憲	輿水 康弘	清水 大稀
石毛 貴子	大野 真実	小平 亜弓	下尾 剛
石田 強史	大場 恵利	小玉 友次	庄司 京美
石田 治久	岡倉 光則	木ノ村 康浩	白石 昇
石田 誠	岡崎 吉泰	小林 謙太	新舗 文彦
石村 哲郎	奥田 千香子	駒崎 桂一	菅谷 栄二
和泉 佑佳	奥野 太一	小宮 聡子	菅原 拓也
磯田 洋	小倉 成子	蔡 徳昇	杉本 佑生

杉山 清人	戸田 明宏	林原 美穂	三田 浩和
杉山 登久子	戸松 和恵	原 隆典	峯尾 豪
鈴木 淳美	富田 眞	原 未来	三村 孝二
鈴木 一生	富谷 智枝	原 弥生	宮内 洋
鈴木 香希	中川 玲子	原 優子	宮岡 友美
鈴木 雅人	中島 清美	針ヶ谷 清子	明 俊良
鈴木 真澄	中島 増夫	半田 力也	宗 菜摘
鈴木 康之	中島 美香	樋熊 和美	村井 京子
関口 孝子	長瀬 亮一	平塚 早央里	村木 裕人
関口 利男	中野 和広	平野 哲也	村佐 匡平
関口 はつ	中野 健一	平野 智寛	村田 茂儀
蘓鉄 元気 クルニア	仲俣 圭	平山 信子	百田 美帆
高田 和美	中村 勝則	平山 史弥	森 喜美
高月 のぞみ	中村 清夏	廣瀬 真衣	森 昇一
高橋 昭彦	中邨 敏子	深沢 祥司	森 せい子
高橋 絵里	中村 雄真	福家 美奈子	森田 純一郎
高橋 淳子	中村 夢夏	藤野 翼	森谷 和奈
高橋 愛美	永山 勝孝	古河 大輔	諸橋 章子
高橋 久美子	中山 達也	古河 宏太郎	谷貝 駿太
高橋 秀一郎	中山 晴貴	文屋 美佐子	八木 友香
高橋 真理子	名古屋 敬太	星野 麻由美	矢倉 大雅
竹内 智海	夏梅 幸子	本間 一洋	八島 美佐子
武田 敏	夏梅 照子	本間 良成	八ツ繁 匡生
武田 俊彦	成田 由美子	政木 昌子	山上 健太
竹田 祐樹	難波 千尋	榊満 美希	山口 富美子
竹田 理恵	新田 真由美	町田 高宏	山口 益弘
田島 亜沙美	楡井 加梨	松崎 泰典	山崎 護
辰巳 普	沼田 雅晴	松渕 秀美	山田 修司
田中 信一郎	野呂 健太	松村 清次	山田 彰代
田中 啓之	萩原 洋	松本 和久	山中 修司
千葉 利恵	橋本 知佳	丸山 裕輔	米川 直輝
全 真和	橋本 春美	三上 友芽	若井 一郎
全 将貴	長谷川 俊	神子沢 尚子	我妻 孝一
積田 政幸	長谷川 貴男	神子沢 奈月	若山 真人
寺崎 貴子	長谷 由美子	水島 聖子	脇田 芳子
東條 里香	埴谷 孝行	水谷 のぶ子	渡邊 忠二
富樫 友春	濱谷 美幸	水谷 有子	渡部 博信
得重 博史	林 毅彦	水野 富一郎	亘 則光

(敬称略)

(なお、令和 3年 12月 3日以降 賛助会員は次号につづく)

## 編集後記

会員の皆様には、日頃から当法人の運営に際し、多大なるご協力とご理解を賜りありがとうございます。早いもので気がつけば年の瀬も近づいてまいりました。今年の影響に残る出来事と言え、何といても東京オリンピック、パラリンピックの開催ではないでしょうか。日本人選手が多くメダルを獲得したことはとても嬉しいことでした。そしてなによりも全世界から一流のアスリートが集まり、努力の限りをぶつけ合う。コロナ禍のせいもあって閉鎖的な気持ちになりがちでしたが、そんな姿に感動と勇気をもらい、励まされた方も多かったのではないのでしょうか。

今年の冬は例年より寒くなると予想されているそうです。皆様、お身体ご自愛下さい。

